



現在の町並

熊町は、相馬藩と岩城藩の境の宿場町、熊駅として栄えていた。掘割りを挟んで、旅籠、酒屋、呉服屋などが軒を列ねた、宿場町の姿があった。戦前に掘割りは埋められた。又、空襲で焼けてしまって、昔の家並みもだいぶなくなり、昔をしのぶことが出来るものは少なくなってしまった。空襲では沢山の人が亡くなり、その後、新聞社の人達が当時のことを取材にきて、新聞にも載つたが、以前の写真や資料はあまり無い。町史に

ているが、今で考えれば大切な遺産だつた。熊町を鉄道が通らなかつたので、国道を通らなかつたので、国道を通りました。町の真ん中を流れていた掘割りが埋められて、広い道が出来ていて、あまり苦労なく国道が出来たようだ。

◆ ◆ ◆

石などが祀られています。ほかには、大塚神社があり、信仰は厚く守られています。特に、秋葉神社の信仰が厚く、三年に一度、大祭「渡御祭」を行なっています。

この祭りは珍しいこともあって、新聞などにも載りました。

民話の「鼻どり地蔵」も知られていて、見学に来る人もいます。昔、鼻どりをしたと言っていた田圃を「地蔵ぼっこ」と呼んでいたが、標識がないので、今はどこだつたかわからないのが残念です。

大熊町を端から端まで
知りつくそう！

〒979-1305 熊地区です。

字名では、新町・旭台・錦台・熊町・館・滑津・羽山下・田成園、町内でも広い地区です。

この地区には鉄道、国道六号線が通つており、様々な変貌をしてきた地区です。新町には文化センター（旧役場跡地）があり、文化事業の中心地となっています。又、旭台地区は近年住宅地として急速な発展をし戸数が何百という単位で増加しています。



